体力 気力 努力

日本人初のオリンピアン、日本マラソンの父 金栗四三（かなくりしそう）ってどんな人？

PROFILE
- 生年月日：明治24年(1891年)8月20日
- 生誕地：熊本県玉名郡春富村(現・和水町)
- 座右の銘：「体力、気力、努力」
- 没年月日：1983年11月13日(92歳没)
- 自己ベスト：2時間19分30秒(25マイル)

玉名市名誉市民第1号の金栗四三翁は、日本人で初めてオリンピックに出場、当時のマラソン世界記録を3度も塗り替えました。自分で考案したオリジナルマラソン靴を開発したり、高地トレーニングを他に先駆けて始めたり、「箱根駅伝」を創設したり、マラソン普及のため、下関から東京間・樽太から東京間・九州一周を踏破し、全国走破を達成しました。生涯に走った距離は25万キロ。なんと、地球6周と4分の1です。マラソン・駅伝競技の先駆者として素晴らしい功績を残しています。
競技者として第一線を退いてからは、玉名市に帰郷。伝説の「マラソン世界最遅記録」を樹立したり、女子スポーツの発展に力を注いだり、楽しく ゆっくりと走る健康マラソンの普及に尽力するなど、数々の逸話・エピソードを残しています。

金栗四三マラニック

マラニックとは、マラソン+ピクニックを合わせたスポーツです。

タイムや順位を競うのではなく、それぞれのペースで、日本マラソンの父・金栗四三翁のふるさと玉名市の歴史史跡や街、自然、そして、ゆかりの場所めぐりを楽しみましょう！

※QRコードをスマートフォンで読み取ると、各ポイントの紹介動画が流れます。

街めぐりコース 11.4km

新玉名駅を起点に、金栗翁にまつわる資料を収蔵している「歴史博物館こころピア」や商業町、港町として繁栄してきた高瀬の歴史的遺産が今も数多く残る「高瀬裏川」、大河ドラマのロケ地にもなった「後こころがし」、金栗翁が通った玉名高校（旧新玉名中学）、玉名温泉など金栗翁ゆかりの場所と玉名の観光スポットも楽しめるコースです。

1. JR新玉名駅 スタート
2. 歴史博物館 こころピア 新玉名駅から2.4km
3. 高瀬地区/高瀬裏川 水際緑地公園 新玉名駅から3.5km
4. 後こころがし（高瀬船着場跡） 新玉名駅から4.4km
5. JR玉名駅 新玉名駅から6.6km
6. 玉名高校 新玉名駅から7.1km
7. 疋野神社 新玉名駅から8.1km
8. 立願寺公園 しらさぎの足湯 新玉名駅から9.1km

住家を訪ねるコース 9.5km

新玉名駅から、金栗翁が玉名に帰郷した後、約50年過ごした玉名市小田地区を往復するコースです。豊かな田園地帯を抜け、現在は資料館が併設されている「金栗四三翁住家」や金栗翁の金言「体力・氣力・努力」の石碑がある「金栗四三翁墓所」などを訪ねます。

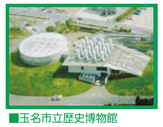
1. JR新玉名駅 スタート
2. 五千名大橋 新玉名駅から2.1km
3. 小田地区 新玉名駅から3.7km
4. 金栗四三翁 住家・資料館 新玉名駅から4.4km
5. 金栗四三翁墓所 新玉名駅から4.4km

玉名市名誉市民・金栗四三 ゆかりの地をめぐる

玉名市役所観光課
〒865-8501 熊本県玉名市岩崎163 TEL:0968-57-7548

まち里の湯 玉名温泉

玉名温泉はかつて立願寺温泉と呼ばれ、白濁が傷を癒したという伝説が残っています。豊富な湯量を誇り、泉質は弱アルカリ性の単純温泉。神経痛などに効果があり、湯冷めしにくいと言われて、マルっとした肌触りが特徴。 玉名市



■玉名市立歴史博物館 こころピア

市民の心と心の架け橋という意味で「こころピア」と名付けられました。地域に根ざしたテーマで開催する企画展の他、玉名の歴史を紹介する常設展や様々なイベントを行っています。【玉名市】

■高瀬裏川の花しょうぶ

玉名市の高瀬裏川の花しょうぶ。開花時には、約700mにわたって高瀬裏川水際緑地一帯に花しょうぶが咲き誇ります。【玉名市】

■草枕温泉てんすい

草枕温泉てんすいには、ご家族・グループでのご利用に最適な宿泊施設「草枕山荘」があります。木の香りと温もりを感じる山荘は、宿泊以外にも各種宴会・パーティ・レクリエーション・懇談会・研修・ビジネス等にもご利用いただけます。また、貸しスティックもあるグラウンドゴルフ場は、手ぶらで行くことができ低料金で家族で楽しめます。【玉名市】

■豊前街道南関御茶屋跡

江戸時代の参勤交代の際に大名行列がこの町を通り、藩主はこの御茶屋で宿泊や食事をとっていました。中には馬姫も立ち寄ったという記録もあります。御茶屋に関する建物が現存するのは県内でも唯一で貴重な文化財です。九曜紋の鬼瓦や釘隠しもあります。【南関町】

■大津山公園

四季折々の花が咲き乱れるこの公園は、遊歩道や東屋、公衆トイレが完備され、訪れる観光客の憩いの場となっています。桜、つつじの花見シーズンには夜間照明も点灯され夜空を彩ります。【南関町】

■菊水ロマン館

菊水ロマン館は、地元で採れた旬の野菜や果物、花、加工品などが豊富にそろっています。館内の工場で作られる「よせ豆腐」やいきなり団子」は大人気!レストランや光明石温泉も人気で、カヌー体験もできます。【和水町】

■体にまつわる 八つの神様ご利益めぐり【癒しのパワースポット】

和水町には、霊験あらたかな各体にまつわる八つの神様（目・イボ・胃・性・歯・命・耳・手足）があります。八つの神様を巡って、心も体もリフレッシュ。ご利益めぐりの観光案内も行っています。【和水町】

■やまが温泉郷

古くは1300年の歴史があるやまが温泉郷。この地には、山鹿温泉のほか、熊入温泉、平山温泉、菊鹿温泉、鹿本温泉があり、多くの温泉旅館や立ち寄り湯などが点在しています。豊富な湯量はもちろん、やわらかくまろやかな肌触りの湯は、心と体を癒やしてくれると古くから地元の人に愛されてきました。まちなかの落ち着いた趣ある温泉や田園風景に溶け込む温泉など、多湯多彩なやまが温泉郷で至福のひとときをお過ごしください。【山鹿市】

■山鹿灯籠まつり

8月15・16日に毎年行われる九州を代表する夏の風物詩。古代の天皇をお迎えするたいまつがその由来。千人もの女性が和紙と糊だけで作られた金灯籠を頭に掲げて踊る、灯籠踊りはゆれる灯りが幻想的なお祭り。【山鹿市】

■菊鹿ワイナリー

平成30年11月にオープンしました。およそ4.8haの広大な敷地には、ワイン用ぶどうが植えられている日赤農園、「菊鹿ワイン」を中心に生産する醸造所、レストランがあります。ショップでは季節のジェラート、特産の栗を使ったスイーツや山鹿の特産品も販売しています。【山鹿市】

明治43(1910)年、旦那衆と呼ばれていた山鹿の実業家たちが建てた芝居小屋。江戸時代の様式の中にイタリア製のレールを用いた廻り舞台などを備えた造りで、今も、歌舞伎や郷土芸能などの催しが行われ、人々を楽しませています。

■豊前街道の町並み

豊前街道は、熊本から植木、山鹿、南関を経て小倉を結ぶ参勤交代道。歴史ある商家が軒を連ねる街道筋には風情ある町並みが続きます。最近では、カフェや雑貨屋など新しいお店もオープンしています。【山鹿市】

■矢谷渓谷

岩場を曲がりくねって落ちる天然の滝すべりは、スリル満点です。子どもたちは水しぶきをあび、何度もチャレンジしています。【山鹿市】

■さくら湯

今から約370年前の肥後細川藩主のお茶屋として記録が残る「さくら湯」。明治初期の大改修以降、市民温泉として愛されてきた山鹿の元湯は、昔の面影そのままに、平成24年10月に再生されました。外観は昭和48年の解体前、内観は昭和33年改修前の姿になっています。【山鹿市】

菊池川

阿蘇外輪山を源とし、有明海に注ぐ延長71kmの1級河川。この地域の物流の大動脈として、舟運が栄えました。米作りに必要な肥沃な土と清らかな水をもたらしています。

■菊池温泉

60年ほど前に湧出し、自然の湯を100%使った温泉は、湯量豊富で無色透明・アルカリ性。その肌に優しく柔らかい景観より別名「美肌の湯」「化粧の湯」と呼ばれるほど魅せられ、多くの観光客に親しまれています。【菊池市】

■菊池渓谷

菊池市街地から東へ約17km、阿蘇外輪山の北西部の標高500m～800mの間に位置し、1,180haの広大な面積からなる渓谷で、日本名水百選の一つです。変化に富む渓流と、美しい森林とがおりなす姿は絶景です。四季を通じて訪れる人々の心を和ませてくれる、まさに「憩いの森」です。【菊池市】

■江藤家住宅

国指定重要文化財（平成18年1月指定）の江藤家住宅。江戸時代の「在御家人」（郷士）の住宅の中でも、最も大型で建築年代の古い住宅。白川北岸の肥沃な田園を基盤とした豪農民家としての側面と武家屋敷としての側面を兼ね備えています。【大津町】

大津町
Ozu Town
JA菊池 大津とれたて花
とれたて市場
道の駅 大津
おおづ
おおづ
おおづ